

基本目標1 北上で出会い、安心して子どもを産み育てられる「まち」を創る

1 基本的方向及び数値目標の実績

基本的方向	数値目標	指標の説明	単位	実績値						目標値	達成状況
				H26	H27	H28	H29	H30	H31		
本市の合計特殊出生率は、全国平均を上回るものの減少し続け、死亡数が出生数を上回る自然減に突入している。出産・子育てに関する課題として、市民アンケートからは子育てに係る経済的負担、出産・子育てと仕事の両立などが挙げられており、また、結婚においては、出会いがない、雇用や収入への不安などを理由に男女共に有配偶率が減少傾向にある。 本市としては、若年世代が安心して働ける質の高い職場を生み出し、結婚希望の実現率を引き上げるとともに、結婚・出産・子育ての切れ目のない支援や仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の確保に取り組むことにより、夫婦等が望む子育て環境を提供し、希望する子どもの数が実現できるよう取り組む。	合計特殊出生率	15～49歳までの女子の年齢別出生率を合計したもの	人	1.64 (H25)	1.59 (H26)	1.54 (H27)	1.49 (H28)	1.57 (H29)	1.40 (H30)	1.62 (H32)	□



2 基本目標の総括及び今後の方向性

基本目標の総括(達成率)及び取組	今後の方向性
<p>○合計特殊出生率の状況を見ると、直近3年(2025～2027年)は、基礎値から大きく下回っている。当市の人口ビジョンにおける分析では、令和2年までの間に下げ止まると試算しているところであるが、下げ幅が予測よりも大きくなっている。</p> <p>○結婚の希望をかなえる安定就労と出会い創出に関しては、ジョブカフェさくら等による各種セミナーや人材育成に取り組んだ。また、出会い創出に関しては、若手県が設置した「いきいき若手結婚サポートセンター」の運営費の一部を負担し、出会い創出に寄与した。</p> <p>○児童数が減少しているものの、保護者の就業率の上昇や家庭環境の変化により、保育ニーズが増加している。3歳未満の待機児童が多く存在しているため、子ども・子育て支援事業計画に基づき3歳未満の受け入れを行う施設の整備を行い、保育の受け皿を拡大したが、新たに発生した「3歳の壁」、保育士不足のほか、幼児教育・保育の無償化による保育ニーズの変化が見込まれることから、今後も待機児童解消に向け取り組む必要がある。</p>	<p>○若い世代の安定就労や安心して働ける職場環境を生み出すために、若手労働局やジョブカフェさくら等と連携し、支援策を講じていく。</p> <p>○幼稚園の事業者に対して認定こども園への移行に伴う費用の一部を補助するほか、保育人材確保事業を展開し、待機児童の解消を図る。</p>

基本目標に関する事項

■各施策の進捗状況

施策1	若い世代の結婚の希望をかなえる安定就労と出会いの創出
-----	----------------------------

計画の内容	重要業績評価指標	指標の説明	単位	実績値						目標値	達成状況
				H26	H27	H28	H29	H30	H31		
本市の若い世代の結婚は、契約・派遣社員などの有期雇用者や農業など第1次産業従事者で結婚している割合が少ない傾向にあり、結婚できない理由は雇用面・収入面への不安や良きパートナーとの出会いがないなどとなっている。 男女ともに減少傾向にある有配偶率を向上させるため、若年層を中心とした、就労支援や職場の定着、男女の出会いの場の創出など、希望する結婚のための改善に向けて取り組みを支援する。	北上市管内新卒者の当市及び近隣市町への就職内定率	北上市管内新卒者の就職者数に占める北上・花巻・水沢公共職業安定所管内への就職内定率(括弧内は北上市管内新卒者の北上市管内への内定率)	%	57.3 (37.6)	55.2 (42.3)	58.0 (42.3)	66.6 (47.5)	67.9 (52.7)	69.4 (50.3)	60	A
	市内平均	市町村村民所得推計の1人あたり市民所得は雇用報酬のほか、財産所得、雑所得などから算出される。企業や個人事業主の所得は、住民税の課税額を基礎として算出される。	万円	2,729 (1,825)	2,835 (1,825)	2,828 (H26)	2,946 (H27)	2,894 (H28)	2,975 (H29)	3,000 (H32)	B

施策に関する事項

現状・課題等	今後の方向性
<p>○全国的にも人口減少が見込まれる中、労働力不足が今後の企業進出などの地域経済成長の制約とならないよう、労働力の確保が必要である。</p> <p>○北上公共職業安定所管内の新規高卒者の管内就職率は50.3%であり、人手不足の解消には、地元就職率のさらなる改善が必要のほか、他地域への働きかけが必要となっている。</p>	<p>○インターンシップの実施支援や企業見学会の開催などにより新規学卒者の市内就職を高めるほか、就職相談会等により、労働意欲がある者と企業とのマッチングを図る。</p> <p>○他地域の新卒者(特に県外志向者)への情報提供を強化する。</p>

■施策に紐づく事業の取り組み内容(予算が伴う事務事業を抜粋)

◆若い世代の就労と職場定着の支援◆					
#	主要事務事業	目標達成状況	H30年度事業実績 【計画期間内での新規事業は計画概要】	達成状況の分析・問題点・課題等	今後の方向性
1	北上地域人材確保定着サポート事業	概ね順調	①ジョブカフェさくらの運営、相談員3名配置。利用者〇3,782人、就職決定者121人、セミナー受講者286人②人材育成セミナー実施 延べ159人参加 ③人材確保推進員訪問実績：高校延べ〇122校、大学等延べ40校、企業延べ42社	ジョブカフェさくらは、就労に関する様々な協ими寄り添ったきめ細やかな支援により、利用者数が増加している。また、人材育成セミナーでは新入社員コースの受講希望者が多く、急速開催回数を1回増やして開催した。ジョブカフェさくら利用者の中には、様々な事情を抱え直ちに就職につながる人もおり、それぞれの事情に応じた息の長い支援が求められている。また、企業の採用意欲が高く、人手不足の状況となっているため、広く人材を呼び込むための取り組みを強化していく必要がある。	継続
2	北上雇用対策協議会	概ね順調	〇北上地域合同就職相談会開催回数：6回(参加企業延べ66社、参加求職者数延べ279人)①若手県が設置した「いきいき若手結婚サポートセンター」の運営費に対し、県内全市町村が負担金を出して支援するもの。負担金納入 341千円	関係機関と連携しながら事業を実施した結果、新規高卒者の管内就職率が増加した。また就職相談会等求職者に対する支援により、就業に結び付いた人数も増加し、有効求人倍率も改善されている。一方で、求職者の増加に伴って、求職者の求職活動が停滞している。また、求職者の求職活動が停滞している。また、求職者の求職活動が停滞している。	継続
◆民間団体等と連携した男女の出会いサポート◆					
#	主要事務事業	目標達成状況	R01年度事業実績 【計画期間内での新規事業は計画概要】	達成状況の分析・問題点・課題等	今後の方向性
1	いきいき若手結婚サポートセンター負担金	概ね順調	若手県が設置した「いきいき若手結婚サポートセンター」の運営費に対し、県内全市町村が負担金を出して支援するもの。負担金納入 341千円	県内の全市町村が負担金を出して支援するもの。セッター加入者は減少しているが活動による成果は出ている。市民ニーズや直接の効果が把握できない。	継続

事務事業に関する事項